



## 第10期大阪市廃棄物減量等推進員（通称：ごみゼロリーダー）委嘱式及び研修会が開催され、筋原生野区長より、猪股区代表、各連合代表に委嘱状が授与されました。



令和4年8月1日月曜日、生野区役所6階大会議室において、第10期大阪市廃棄物減量等推進員委嘱式及び研修会が執り行われました。生野区では各地域振興会から234名の「ごみゼロリーダー」の推薦をいただきましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の影響をから、生野区区代表と各連合代表のみでの委嘱式とさせていただきました。

猪股生野区区代表をはじめ、14名の各連合代表が出席していただき、筋原生野区長より、委嘱状が授与されました。

筋原生野区長からは、ごみ処理量は平成3年度の217万トンピークに平成28年度には90万トンにまで削減することができました。今後、さらなるごみ減量に向けた取組を推進していくためには、これまで以上に地域の方々と密接に連携することが不可欠です。廃棄物減量等推進員の皆様には、ごみ減量と3Rを推進する地域のボランティアリーダーとして、また本市と地域の方々との架け橋として、今後ともご協力をお願いします。と挨拶されました。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第2部の研修会では、「ごみゼロリーダー」の担っていただく役割や、ごみ減量等に関する情報の共有など、今後の活動の参考にさせていただく内容でした。



第2部の研修会では、東部環境事業センターの辻所長から、地域のごみ減量に向けた「ごみゼロリーダー」の役割や、大阪市と地域住民を結ぶパイプ役を担うボランティアリーダーとして活動していただき、必要不可欠な存在としての、重要な役割を、今後2年間担っていただくようお願いさせていただきました。

研修会では、東部環境事業センターの治村係長から、SDGsとしての「ごみゼロリーダー」の目標、具体的な役割や、活動内容についてお話させて頂きました。さらには、活動内容については、コミュニティ回収・資源集団回収・新たなペットボトル回収・リサイクルシステムの促進・エコバッグ推進運動への取組み・食品ロスへの取組み・生ごみの“3きり”運動の推進・大規模災害等の発生時についてなど、様々な内容についてご説明させて頂きました。最後に、「大阪市廃棄物減量等推進員」の制度は、廃棄物処理法という国の法律に規定されており、国が環境問題解決のために住民の皆さまに取組んで頂くという役割を委嘱させて頂いていることと地元においてごみの分別や減量に関する啓発活動に、環境局とともに携わって頂きたいことをお願いさせて頂いた内容の研修会でした。



ロゴマークの趣旨



ごみゼロリーダーを中心に、それを取り巻く3本の手が一体をなっ

発生抑制 (Reduce : リデュース)  
再使用 (Reuse : リユース)  
再生利用 (Recycle : リサイクル)

の3Rに取り組んで、ごみ減量・リサイクルの環を構築する姿と循環型社会の形成に向けた3Rという基本原則を表しています。

《編集・発行》

大阪市東部環境事業センター  
大阪市生野区巽中1-1-4  
TEL: 06-6751-5311 FAX: 06-6753-3041  
<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

